

・明るく・温かく・明日に向かって



K J V A

高知県小学生バレーボール連盟
広報委員会通信

No, 32

令和7年6月5日

5月24日 松崎賀美氏 祝賀会(サウスブリーズホテル)

令和6年度 日本小学生バレーボール連盟<個人功労賞>受賞

県小学生バレーボール連盟を創ってきてくださった松崎氏の日小連個人功労賞受賞の宴を行いました。各チームから総勢60名近くの関係者が集まりました。松崎氏の歩んだ人生の深さが、私たちの心に染み入る一日になりました。



受賞理由

高知県小学生バレーボール連盟の創設に尽力。高知市小学生バレーボール連盟も立ち上げ、後に高知県小学生バレーボール連盟事務局として、県内のジュニアバレーボールの発展に貢献する。その間、鴨田スポーツ少年団の活動にも地道に取り組み、選手の心身のバランスの取れた成長に寄与する。また、指導者のアドバイザー的、母親的な存在として県小連の顔となり、ご夫婦二人三脚で活躍を続けた。平成〇〇年、夫の有弘氏他界後も変わらぬバレーボール愛で、今日まで県小連を支え続けてくれた功績は大である。

県小連 事務局(会計) 34年間

四國小連 事務局 合計8年間

◎鴨田スポーツ少年団代表として44年間、

数多くのジュニアバレーボーラーを育てる。

◎全国バレーボール小学生大会高知県代表

男子6回 女子6回 出場

◎毎年のように、県上位入賞を果たし、四国大会にも数多く出場している。



松崎賀美氏のスピーチ

本日は、お足元の悪い中、たくさんの方と懐かしい顔ぶれの方たちに集まっていただき、これほど盛大にお祝いをしていただきまして、ありがとうございます。

自分としましては、それほどやったとは思っていませんけれども、小学生連盟ができた頃は、都築会長、笹岡会長がいて、中屋理事長は当時 25 歳でした。その時に理事長という任を引き受けてくださり、中屋さんは理事長として、私は事務局として、そうしてスタートしたのが始まりです。「2人で仕事を分け合ってやりましょう、まずは組織作りからやりましょう」と、そのように始めました。「なによりもチーム数を増やさないかん、まずは 50 チーム作りたい、作ろう」ということと、「審判を自分たちでやれるようになりたい」という中屋理事長のお話で、主人とも話し合いを重ねながら頑張ってきました。

濱田会長は当時指導普及におり、後を引き継いだ有宏氏が走り回っておりました。そして、西内仁さんを審判部にと中屋理事長が口説き落とし、おかげさまで今では審判部が一人歩きできるまでに育てていただきました。

また、中屋理事長には日小連でのお仕事もできるようにしてもらいたく、「お金はなんとか工面するので、出張してほしい」という感じで、派遣もさせていただきました。竹村理事長が日小連で活躍できているのも、このように中屋理事長が足がかりを作ってくれたおかげでございます。

ということで、なんとか 55 チームぐらいはできました。このように、周りの方達が良い足がかりを作ってください、そのおかげで私もここまでやってこられました。

今は事務所で 40 年分の書類を片付けておりますが、軽四トラック 1 台分ぐらいの書類があります。その中からは、「第 1 回審判講習会 西内仁」という名簿も出てきました。まだ 7~8 チームしか出てきていなかった頃です。野中監督の詫び状なんかも出てきました。そうやって色々な事を思い出しながら片付けを進めているところです。

たくさんのお思い出とともに表からは引きますけれど、これからもお手伝いはしますし、自分のチームもありますので、ボケ防止も兼ねて試合会場には参加させていただきます。今後ともどうぞよろしく願います。

100 歳で監督、100 歳で東京体育館へ

小学生バレーボールとともに歩んだ松崎さんであります。子どもとバレーボールを楽しみ、時にはお母さんのようにそして時には無邪気にボールと戯れる松崎さんです。お父さんを支えて、家族を支え、そして高知県小学生バレーボール連盟をつくり上げてきた松崎さん。表彰に値するというかそれ以上のすばらしい功績を残されました。心からお喜び申し上げます。

松崎さんのすばらしい所は、自分の事よりも他の人のお世話をすることに喜びを感じるところです。自チーム鴨田スポーツ少年団が大事なものは当然でしょうが、頭には常に高知県の小学生バレーボールの発展がありました。4 年に 1 度の四国大会高知開催や平成 24 年に行った 30 周年記念行事・平成 25 年スポーツ少年団全国大会高知開催、令和元年以降のコロナ渦での大会開催、そして新たな課題であるコンプライアンス事案に関わるすばやい対応も考えた県小連の組織改革等、常に私たちに的確なアドバイスをくださり、難事をてきばきと前にすすめることができました。特にここ数年は、各行事が集中し多忙を極めましたが、すぐに解決策を与えてくださったものでした。

周りがよくなってこそ、自分のチームもよくなる、という信念を貫き通された役員生活。本当にお疲れ様でした。松崎さんの前に県小連の道はない、松崎さんの歩みの後に県小連の道ができる。私たちはそう確信します。

これからも県小連のレジェンドとして、そして私たちの憧れとして、希望として、ご活躍を願っています。100 歳で監督、100 歳で東京体育館、これを目標にがんばってほしいです。松崎さんなら実現できそうな気がします。いつまでも県小連のおかあちゃんでありつづけてください。

高知県小学生バレーボール連盟 広報委員会 より